

2019年 第七管区 主な出来事

天皇陛下在位30周年及び皇太子殿下のご即位に伴う慶祝行事(七管区) 2月、5月、10月

天皇陛下在位30周年(2月24日)、皇太子殿下のご即位(5月1日)及び即位礼正殿の儀に伴う慶祝行事(10月22日)を祝して、管内の巡視船艇及び灯台において、満船飾、船飾及び万国旗等の掲揚を実施しました。

管内巡視船の満船飾の様子



仙崎 巡視船おおみ 門司 巡視船さくち 福岡 巡視船やしま 唐津 巡視船まつら

灯台の万国旗等の掲揚の様子



部埼灯台 大婆鼻灯台 関崎灯台(令和元年5月1日)

福岡県系島市沖で乗揚げた船舶からの救助活動(福岡基地、唐津) 2月

2月1日、福岡県系島市沖灯台瀬に乗揚げた貨物船から、118番通報により救助要請を受けました。唐津海上保安部所属の巡視船及び福岡航空基地所属のヘリコプターを現場海域に急行させ、夜間荒天下の中、傾斜する船体から乗組員5名を救助しました。救助状況を記録した映像は、広く報道機関に取り上げられました。



大型巡視船等進水式・引渡式(七管区) 3月、8月

3月、「海上保安体制強化に関する方針」に基づいて建造中の巡視船「しゅんこう」「れいめい」及び大型測量船「平洋」の進水の儀が、8月には巡視船「みずほ」の引渡式が、三菱造船(株)江浦工場及び三菱重工業(株)長崎造船所において、海上保安庁幹部出席のもとそれぞれ実施されました。来年、建造中の大型巡視船等が順次海上保安庁に引き渡される予定となっており、領海警備や海洋調査等において重要な役割を担うことになります。



測量船「平洋」進水式



巡視船「れいめい」進水式



巡視船「しゅんこう」進水式



巡視船「みずほ」引渡式

G20福岡財務大臣・中央銀行総裁会議

海上警備本部設置(七本部) 5月

6月8～9日、福岡市において開催された「G20財務大臣・中央銀行総裁会議」に先立ち、第七管区海上保安本部では5月24日「海上警備本部」を設置しました。海上警備本部長からは「一人一人が危機感と緊張感を持ち、職員一丸となって海上警備に万全を期すこと」との訓示がなされました。



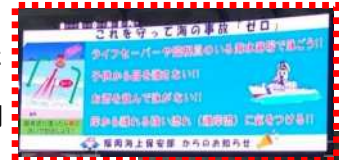
関門センター運用開始30周年(関門センター) 6月

平成元年6月1日に、日本の経済を支える関門海峡並にその周辺海域の海上交通の安全のために運用を開始した「関門海峡海上交通センター」が30周年を迎えました。その間、情報提供可能海域の拡大、AIS業務、インターネットを利用した情報提供、統括運用管制官の配置等、業務を拡大しつつ今日に至っています。



福岡県における夏季の遊泳中の事故「無事故達成」(七本部、門司、若松、福岡、三池、唐津) 7～8月

昨年、福岡県における遊泳中の事故が15人発生、6人死亡したことから、遊泳者事故防止啓発アニメーション(離岸流編)の制作や、ヤフオクドームのセンタービジョンでのメッセージの掲載等、広く一般の方々への積極的な安全啓発活動や関係機関と連携した合同パトロールを推進した結果、本年は無事故を達成しました。



厳原港沖においてウミガメ救出!!(対馬) 8月

8月7日、台風8号通過後の沿岸部調査を実施中、厳原港沖に漂流している漁網を発見、揚収作業のため接近するとウミガメ2匹が漁網に絡まっていた。巡視艇「やえくも」搭載艇により接近し、ナイフを使って漁網を切断すること約30分、無事にウミガメを救助することができました。救助されたウミガメをそと海に放すと元気に泳いでいきました。



令和元年8月の前線に伴う大雨への対応

(七管区) 8月

8月、佐賀県等を中心とした記録的な大雨により、広範囲に被害が発生しました。佐賀県庁、福岡県庁及び長崎県庁に職員を派遣し情報収集を行ったほか、孤立した車両からの救助要請に対し、当庁ヘリコプターを急行させ、幼児1名を含む5名を救助しました。また、佐賀県大町町で流出した油に対応するため、機動防除隊を派遣し、油防除にかかる指導助言を行いました。



「七管区常設展示場」をリニューアル(七本部) 9月

9月21日、七本部の常設展示区画が設けられていた「関門海峡ミュージアム」の、約1年半の工事を経たリニューアルオープンに伴い、七本部は、同区画を一新しました。七本部職員が一丸となって、当庁業務体験型施設(トリックアート)壁一面を使った海上保安業務説明100インチ大型ディスプレイを目玉とした当庁の常設展示場のリニューアル作業を終えました。



巡視船カレーラリーを初開催(七管区) 10月～12月

海上保安友の会七管支部では、令和元年秋の大イベントとして、各保安部の協力を得て、「七管巡視船カレーラリー」を初めて開催しました。10月から12月までの間の土日に管内5保安部の所属巡視船で行われ、いずれの会場にも友の会会員及び家族、友人等が多数訪れ、各船のそれぞれ趣向を凝らしたカレーを味わってもらいました。参加者からは「とっても美味しかった!」「船内や展示訓練も見学できて楽しかった!」「また是非参加したい!」との絶賛の声をいただきました。

